

彦根市版SDGs



彦根市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

総合計画の推進＝SDGsの推進

- 総合計画は市政運営の基本方針であるとともに、市民・事業者など地域の主体が目標を共有し、ともに取り組むことを位置づける計画です。
- 総合計画では、各政策・施策とSDGsとの関連付けを行っており、**彦根市は総合計画を推進することで、SDGsを推進します。**
- 総合計画によるSDGsの推進を明確にするため、SDGsの17のゴールごとに、総合計画の内容を整理し、「彦根市のゴール」と「主な取組」をまとめた**「彦根市版SDGs」**を作成しました。

総合計画施策・SDGs対応表

1 だれもがその人らしくいきいきと暮らし、つながり支え合うまち

		1 貧困をなくそう	2 健康をこころに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を 실현しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも減らそう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
1-1-1	人権尊重のまちづくりの推進					●					●						●	
1-1-2	男女共同参画社会づくりの推進					●					●							
1-1-3	多文化共生のまちづくりの推進			●	●				●		●	●					●	●
1-1-4	国際交流の推進				●							●					●	
1-2-1	健康づくりの推進			●														
1-2-2	地域福祉体制・生活支援体制の充実	●	●	●		●			●		●	●					●	●
1-2-3	障害者(児)福祉の推進			●	●						●							
1-2-4	高齢者福祉の推進			●							●							
1-2-5	地域医療体制の充実			●														
1-2-6	生涯学習・社会教育の推進				●													

総合計画施策・SDGs対応表

2 子ども・若者が自分らしく輝き、学び躍動するまち

		1 貧困をなくそう	2 健康を こころに	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 保とう	15 陸の豊かさも 保とう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
2-1-1	子ども家庭支援の推進	●		●	●													
2-1-2	乳幼児の保育・教育の推進			●	●				●									
2-1-3	小学校・中学校教育の充実				●	●												
2-1-4	子ども・若者育成支援の推進	●		●	●				●									
2-1-5	高等教育機関との連携				●													
2-1-6	若者の定住・移住の促進											●						

総合計画施策・SDGs対応表

3 歴史・文化を生かし、にぎわいと特色ある産業が育つまち

		1 貧困をなくそう	2 健康を こころに	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 保とう	15 陸の豊かさも 保とう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
3-1-1	世界遺産登録の推進											●						
3-1-2	歴史文化遺産の保存・活用・共生の推進				●							●						
3-1-3	景観形成の推進											●						
3-1-4	文化・芸術の振興				●													
3-2-1	観光の振興									●								
3-2-2	スポーツの振興			●														
3-3-1	農林水産業の振興		●							●			●			●		
3-3-2	商業・工業・サービス業の振興									●		●						
3-3-3	創業・新産業創出の推進									●								
3-3-4	就労機会・就労環境の充実								●									

総合計画施策・SDGs対応表

4 豊かな自然と共生し、安全・安心で快適なまち

		1 貧困をなくそう	2 健康をこころに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくって減らす循环经济	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
4-1-1	持続可能な都市形成									●		●						
4-1-2	公共交通ネットワークの充実											●						
4-1-3	生活環境・自然環境の保全と創出			●	●		●					●	●		●	●		
4-1-4	低炭素社会・循環型社会の構築				●		●	●				●	●	●	●	●		
4-2-1	住宅施策の推進	●										●						
4-2-2	上下水道の整備・充実						●					●			●			
4-2-3	公園緑地の整備									●		●				●		
4-2-4	道路の整備											●						
4-3-1	危機管理対策の推進											●		●				
4-3-2	消防・救急体制の充実			●	●	●				●		●		●				●
4-3-3	水害・土砂災害対策の推進											●						
4-3-4	生活者の保護・安全対策の推進	●		●	●						●	●	●				●	●
4-3-5	交通安全対策の推進											●						

総合計画施策・SDGs対応表

5 政策推進のための取組

		1 貧困をなくそう	2 健康をこころに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも減らそう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
5-1-1	情報発信の充実																	●
5-1-2	シティプロモーションの推進																	●
5-1-3	地域コミュニティの強化・担い手育成																	●
5-2-1	交流人口・関係人口増加策の推進									●		●						●
5-2-2	広域連携の推進											●						●
5-2-3	行財政改革の推進											●						
5-2-4	総合計画の推進と社会変化への対応																	●

SDGsゴール1：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



総合計画の関連する施策

1-2-2, 2-1-1, 2-1-4, 4-2-1, 4-3-4

彦根市のゴール

- 総合的な相談支援体制の構築を進め、だれひとり取り残さないまちになっています。
- 乳幼児福祉医療費助成制度や子ども医療費助成制度、小中学校給食の無償化などの子育て支援策により、子育て世代が経済的な不安を抱えることなく、安心して子育てできる環境になっています。
- ひとり親家庭のニーズを的確に把握し、だれもが安心して子育てできる環境になっています。
- 住宅セーフティネットとして充実を図るとともに、高齢者等に配慮した公営住宅等の質の向上を図り、だれもが安心して暮らすことのできるまちになっています。

主な取組

- 相談支援機関および民生委員・児童委員等の連携等ネットワークの構築を進めます。
- 子どもや乳幼児に対する医療費助成の拡充や小中学校給食の無償化を図ります。
- ひとり親家庭に対し、経済的自立に向けた就労支援を進めます。
- 就労に対して意欲のあるひとり親を対象に、関係機関と連携しながら、就業までのサポートに努めます。
- 現公営住宅等を有効活用し、住宅に対する質の向上を図ります。

SDGsゴール2：飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



総合計画の関連する施策

1-2-2, 3-3-1

彦根市のゴール

- 麦・大豆作の本格化と、収益性の高い園芸作物の作付け面積拡大が行われ、地産地消の取組と農業者の所得向上が実現されています。
- 先進技術を活用したスマート農業による新たな農業技術が用いられ、農業従事者の労働力軽減や、多様な経営を実践する新規就農者の確保・育成が実現されています。
- 持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保と、農地の集積・集約化の加速、経営発展の後押しや円滑な経営継承が図られることで、本市農業の生産基盤が強化されています。

主な取組

- 土地利用型農業を継続しながら、非主食用米や園芸作物などの作付拡大を推進し、関係機関と連携して農業者の所得向上を図ります。また、学校給食をはじめとする地産地消を進めます。
- 担い手を育成・確保するために、農地の集積・集約化を加速させ、担い手の経営安定を図ります。
- 関係機関と連携し、担い手の育成や特産品開発、基盤整備等の課題を共有し解決することで、効率的かつ安定的な農業経営の発展を支援します。

SDGsゴール3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



総合計画の関連する施策

1-1-3, 1-2-1, 1-2-2, 1-2-3, 1-2-4, 1-2-5, 2-1-1, 2-1-2, 2-1-4, 3-2-2, 4-1-3, 4-3-2, 4-3-4

彦根市のゴール

- 乳幼児の疾病や障害の早期発見、育児不安の軽減等、安心して子育てができる体制になっています。
- がん検診の受診率を向上させることで、早期発見、早期治療につながるようになっていきます。
- 予防接種を実施し接種率の向上を図ることで、感染症の発病や重症化の予防、まん延防止が図られています。
- 「みんながともに支えあい安心して暮らせるあたたかいまち彦根」になっています(ひこね障害者まちづくりプラン基本理念)。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちになっています。
- 今後の医療ニーズの変化に地域全体で対応できるような安全・安心な地域医療体制となっています。
- 子どもの健やかな成長・発達を促す環境になっています。
- 発達障害のある子ども・若者に対して、ライフステージごとに適切な支援方法と体制が構築されています。

主な取組

- 安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援を図ります。
- 市民の健康診査の受診率向上のための支援を進めます。
- 感染症拡大防止に係る予防接種の接種率向上のための支援を図ります。
- 療育等の各分野と連携しながら、障害のある人への相談・支援体制や各種事業の一層の充実を図ります。
- 地域住民や医療・介護に携わる多職種との連携により、包括的な相談支援体制の整備を進めます。
- 彦根市立病院が湖東保健医療圏の中核病院・地域医療支援病院として役割を果たすことができるよう、人材確保および施設設備・医療機器の整備・充実を図り、安定的な診療体制の構築を図ります。
- 乳幼児健康診査を通して、乳幼児の健やかな成長・発達および子育て世代の育児不安の軽減を図ります。

SDGsゴール4：すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

4 質の高い教育を
みんなに



総合計画の関連する施策

1-1-3, 1-1-4, 1-2-3, 1-2-6, 2-1-1, 2-1-2, 2-1-3, 2-1-4, 2-1-5, 3-1-2, 3-1-4, 4-1-3, 4-1-4, 4-3-2, 4-3-4

彦根市のゴール

- 市内の保育ニーズに適した施設数と保育人材の確保により、待機児童がゼロになっています。
- 特別支援を必要とする乳幼児が、将来社会的に自立できる基礎を身に付けられています。
- 保幼小のなめらかな接続ができています。
- 「生きる力」としての「総合的な学力」が身についています。
- 子どもから大人まで市民一人ひとりが主体的に学び続けられ、活躍できるまちになっています。

主な取組

- 保育現場の環境改善に合わせ、市内保育現場の魅力発信に取り組むとともに、人材確保に努めます。
- 特別支援を必要とする乳幼児一人ひとりに応じた適切な教育・保育が実施できるよう、早期対応に努め、配置基準に基づく保育士の配置に努めます。
- 彦根市保幼小接続期カリキュラムによる保幼小のなめらかな接続を進めます。
- 各学校の教員の中から選出された「学ぶ力向上推進リーダー」が中心となって、各校で学ぶ力向上推進事業を進めます。
- ニーズに応じた学習機会の確保と充実に努めるとともに、市民がその成果を生かし地域でより主体的、積極的に活動できる環境づくりに努めます。

SDGsゴール5：ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を図る



総合計画の関連する施策

1-1-1, 1-1-2, 1-2-2, 2-1-3, 4-3-2

彦根市のゴール

- 性別にかかわらず、社会のあらゆる場で、だれもが互いの個性を尊重し、社会に対する責任を共に担い、共に支え合う男女共同参画社会になっています。

主な取組

- 出前講座等により自治会、地域、事業所での男女共同参画の推進支援に努めます。
- ワーク・ライフ・バランスを考えるきっかけ作りとして、様々な媒体を使って情報提供に努めます。
- 女性委員の比率が低い審議会等においては、クォータ制の導入や改選時に事前協議するなど、女性登用の推進を図ります。
- 審議会・委員会等への女性の登用の推進を図るため、女性人材バンクの活用を進めます。

SDGsゴール6：すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



総合計画の関連する施策

4-1-3, 4-1-4, 4-2-2

彦根市のゴール

- 水道事業の理念である「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与する」ために、いかなる時も市民生活に支障が出ないよう、安定した給水を行っています。
- 下水道施設の計画的な維持管理を着実にを行い、河川や琵琶湖の水質保全に寄与することにより、市民が快適に生活できる住みやすいまちづくりに取り組んでいます。
- 家庭では、ごみの適正処理や生活排水による水の汚れ防止など環境に配慮した行動が日常的に行われることで、多くのホタルが飛び交う良好な環境になっています。

主な取組

- 安全で良質な水道水を供給するため、水質管理体制の充実に努めます。
- 公共下水道については、市街化区域の未普及地域の整備を重点的に推進し、その他の未普及地域は市域全体のバランスを考慮しながら整備を進めます。
- 大気環境や河川、地下水、土壌などの環境リスクについて、滋賀県と連携したモニタリングの実施とホームページでの結果の公表を進めます。

SDGsゴール7：すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



総合計画の関連する施策

4-1-4

彦根市のゴール

- 省エネルギー型の家電・設備や断熱化、再生可能エネルギーの導入が進み、温室効果ガスの排出の少ないエコな住宅や事業所の多いまちになっています。

主な取組

- 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入促進を図ります。
- 電力自由化に伴い、環境に配慮してつくられた電気の利用促進を図ります。

SDGsゴール8：包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



総合計画の関連する施策

1-1-3, 1-2-2, 2-1-2, 2-1-4, 3-3-4

彦根市のゴール

- 雇用の促進に向けた施策や就労意欲の向上への取組により、安定した勤労者の雇用が図れています。また、市内で学んだ学生が、就職後も市内に定着することにより、地域力が向上しています。
- 中小企業従業員や事業主の福利厚生の充実に向けた取組により、勤労者福祉が向上されています。
- 市民が健康で豊かな生活を送るために必要な時間を確保し、多様な働き方・生き方が選択できる社会が形成されています。

主な取組

- 関係機関や団体等の連携、産官学の情報共有を図るとともに、事業所に対して雇用条件の改善などの啓発を進めます。
- 若年者や外国人住民等の就労の促進と安定のため、関係機関等の連携、産官学の情報共有を図り、就労対策や自立に向けた取組を進めます。
- 関係機関との連携により優良従業員表彰を行い、就労意欲の向上を図るとともに、障害者雇用推進事業所表彰を実施し、障害者雇用の促進と就労の安定を進めます。
- 働く人々の健康が保持され、自己啓発や地域活動への参加のための時間を持てる豊かな生活を実現するため、関係機関との連携を図りながら事業所への啓発を進めます。
- ニートやひきこもりなど生きづらさ(社会生活を円滑に営む上での困難)のある子ども・若者の相談や支援により子ども・若者の社会参加が促進されるように努めます。

SDGsゴール9：強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進 およびイノベーションの推進を図る



総合計画の関連する施策

3-2-1, 3-3-1, 3-3-2, 3-3-3, 4-1-1, 4-2-3, 4-3-2, 5-2-1

彦根市のゴール

- 便利で活力のある商店街の振興を通じ、「住んでよし」のまち、魅力的な産業の集積化を進め「働いてよし」のまち、観光拠点である彦根城や地域資源を生かし、「訪れてよし」のまちになっています。
- 首都圏および都市部から多くの創業希望者が移り住み、新しい産業が生まれています。
- 観光による経済効果が地域の活性化・好循環を生み出すとともに、観光客と市民の双方にとって満足度の高い持続可能で健やかな彦根の観光の姿が形成されています。

主な取組

- 彦根市企業立地促進条例に基づき、事業所等の新設、増設および市内移転の積極的な奨励に努めます。
- 商工業者、商工会議所などの連携体制のもと、中小小売サービス事業者の経営基盤の強化を図ります。
- シェアオフィス利用企業を首都圏および都市部から誘致し、創業やIT関連を中心に、若者にとって魅力的な新産業創出に努めます。
- 多様な観光コースの開発や自転車を活用した観光の取組を推進することで、観光客の市内周遊を促し、観光客の滞在時間の延伸や宿泊客数の増加を図ります。

SDGsゴール10：各国内および各国間の不平等を是正する



総合計画の関連する施策

1-1-1, 1-1-2, 1-1-3, 1-2-2, 1-2-3, 1-2-4, 4-1-1, 4-3-4

彦根市のゴール

- 人権尊重の精神が根つき、一人ひとりの尊厳が守られる、人権文化に満ちたまちになっています。
- 市民一人ひとりが、国籍や民族などによる文化的違いや多様な価値観を認め合いながら、対等な関係で支え合う地域づくりを進めることで「ともにいきいきと暮らせるまちひこね」になっています。

主な取組

- 地域、家庭、職場、学校などあらゆる場や機会を捉えた人権教育・人権啓発を進めます。
- 市民が人権侵害等に直面したとき、自らが主体的に解決できるよう、人権擁護に関する様々な支援情報を収集し、効果的な情報提供に努めます。
- 人権のまちづくり懇談会の開催や企業研修の実施等について、市民・各種団体がより積極的に取り組まれるよう、国や県等の専門機関と密接な連携を図り支援します。
- 外国人住民に対する差別や偏見をなくすとともに、多様な背景をもった人々がそれぞれの文化を認め尊重しつつ、ともに暮らす社会をめざすための啓発、教育を充実します。

SDGsゴール11：包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する



総合計画の関連する施策

1-1-3, 1-1-4, 1-2-2, 2-1-6, 3-1-1, 3-1-2, 3-1-3, 3-3-2, 4-1-1, 4-1-2, 4-1-3, 4-1-4, 4-2-1, 4-2-2, 4-2-3, 4-2-4, 4-3-1, 4-3-2, 4-3-3, 4-3-4, 4-3-5, 5-2-1, 5-2-2, 5-2-3

彦根市のゴール

- 北部・中部・南部の特性を生かした、安心して住み続けられる地域が形成されています。
- 鉄道、路線バス、予約型乗合タクシーがシームレスに連携し、利用できる環境になっています。
- 彦根城の本質的な価値の認知度が高まるとともに、修復整備が進み、彦根城がまちづくりの核になっています。
- 市民一人ひとりの防災意識と地域防災力を高め、安全で安心して暮らし続けることができる災害に強いまちになっています。
- 火災予防の推進、広域的な連携や消防団員の確保・教育に取り組むことで、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全なまち」になっています。

主な取組

- 持続可能な都市を形成するため、都市計画マスタープランに基づく各種都市計画の見直しを進めます。
- 公共交通によるネットワークの強化を進めます。
- 滋賀県とともに設立した彦根城世界遺産登録推進協議会での推薦書原案の練り直しや国際会議の開催を進めます。
- 関係機関との連携を図り、彦根市地域防災計画等に基づく、危機管理対策の強化を進めます。
- 火災件数および火災による死傷者の減少をめざすとともに、高齢化社会に対応した安全な地域社会づくりに向け、市民・事業者等を含めた防火体制の推進に努めます。

SDGsゴール12：持続可能な生産消費形態を確保する

12 つくる責任
つかう責任



総合計画の関連する施策

3-3-1, 4-1-3, 4-1-4, 4-3-4

彦根市のゴール

- ごみの分別・減量化やリサイクルの取組が進み、ごみの排出量の少ないまちになっています。
- 地産地消やグリーン購入など、環境負荷の少ない食品や製品の選択が積極的に行われるようになっていきます。
- 市民一人ひとりの意識が向上し、漂着ごみ対策等に積極的に協力するようになっていきます。
- 琵琶湖の漁業の魅力の発信や新規漁業就労者の育成が図られ、担い手の確保がなされています。

主な取組

- 使い捨てのプラスチック容器・包装・製品の使用を減らし、マイバッグやマイ箸、マイボトルの普及啓発を進めます。
- 「NO-FOODLOSSプロジェクト(食品ロス削減国民運動)」や宴会の食べ残しを減らす「3010運動」、「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」を進めます。
- 漂着ごみの原因となるごみのポイ捨てを防止し、散在性ごみの発生を減らすようごみの持ち帰りなどの啓発を進めます。
- 漁業者や漁業組織が実施するイベント等を積極的に支援し、地元産魚貝類の販売店や飲食店の周知に努めます。

SDGsゴール13：気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる



総合計画の関連する施策

4-1-4, 4-3-1, 4-3-2

彦根市のゴール

- 家庭や工場、事業所において、節電や節水など温室効果ガス削減に向けた行動が日常的に行われるようになっていきます。
- 省エネルギー型の家電・設備や断熱化、再生可能エネルギーの導入が進み、温室効果ガスの排出の少ないエコな住宅や事業所の多いまちになっています。
- 新ごみ処理施設において、ごみ焼却時に発生するエネルギーが回収され、余剰電力や熱が地元や周辺地域の施設で活用されるようになっていきます。また、環境学習機能を備えた施設として、ごみ減量や地球温暖化防止等の情報提供や教育など、環境啓発の役割を担うようになっていきます。

主な取組

- 市民の節電や節水など環境に配慮した行動の促進を図ります。
- 事業者の環境に配慮した事業活動やフロン類の適正管理等の促進を図ります。
- 省エネルギー型・高効率型の家電や設備の購入促進を図ります。
- 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入促進を図ります。
- 電力自由化に伴い、環境に配慮してつくられた電気の利用促進を図ります。
- 化石由来プラスチックから再生プラスチックやバイオプラスチックなどへの転換促進を図ります。

SDGsゴール14：持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



総合計画の関連する施策

4-1-3, 4-1-4, 4-2-2

彦根市のゴール

- ごみの適正処理や生活排水による水の汚れ防止など環境に配慮した行動が日常的に行われることで、多くのホテルが飛び交う良好な環境になっています。
- 事業活動においては、環境法令が順守され、近隣への配慮が行われるなど、より良い環境をつくるための取組が進められるようになっています。
- 下水道施設の計画的な維持管理を着実にを行い、河川や琵琶湖の水質保全に寄与することにより、市民が快適に生活できる住みやすいまちになっています。

主な取組

- 教育機関や事業者、地域と連携して、琵琶湖や琵琶湖につながる河川などの保全・回復を図ります。
- 大気環境や河川、地下水、土壌などの環境リスクについて、滋賀県と連携したモニタリングの実施とホームページでの結果の公表を進めます。
- ホテルの生息状況について、環境保全指導員などと連携してモニタリングを行い、水辺環境の把握に努めます。
- 公共下水道については、市街化区域の未普及地域の整備を重点的に推進し、その他の未普及地域は市域全体のバランスを考慮しながら整備を進めます。
- 処理場の老朽化が進行する農村下水道(農業集落排水)について、公共下水道への接続ができるよう管渠の整備を進めます。
- 事業所排水対策等を行い、悪質流入水を排除し、処理負荷の低減に努めます。

SDGsゴール15：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失を阻止する



総合計画の関連する施策

3-3-1, 4-1-3, 4-1-4, 4-2-3

彦根市のゴール

- 琵琶湖周辺では美しいヨシ原や松林が広がり、湖や自然が地域住民や観光客に親しまれるまちになっています。
- 身近な山や川で、生きもの調査や自然観察会が行われることで、自然を大切にする心が醸成されるようになっていきます。
- 林地台帳の活用、森林環境譲与税による所有者、境界の明確化、所有者の意向確認が行われ、間伐作業等の森林管理が適正に行われています。

主な取組

- 滋賀県や大学、環境関連団体などと連携して、貴重な野生動植物の分布や生態について調査・情報収集に努めるとともに、法令などに基づき適正な保全・再生に努めます。
- 自然観察会やエコツアーなどを通じて、生きものや環境の大切さを学ぶ機会の提供を図ります。
- 滋賀県や大学、環境関連団体などと連携して、特定外来生物の分布状況について調査し駆除を行うとともに、新たな外来種が侵入しないよう未然防止に努めます。
- 外来種に関する正しい知識の普及啓発や外来種による生態系への影響の防止に努めます。
- 森林所有者をはじめ、森林組合、造林公社などの関係団体において、伐採適齢期を迎えた森林が間伐作業等により適正に管理されるよう努めます。

SDGsゴール16：持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



総合計画の関連する施策

1-1-1, 1-1-3, 1-1-4, 1-2-2, 4-3-4

彦根市のゴール

- 最新の消費生活情報の発信や啓発活動により、自立した消費者を育成し、市民が安全で安心な消費生活を送れるようになっています。
- 警察・行政・地域・事業者が連携した取組として、防犯情報の発信や啓発活動により市民の防犯意識を高めるとともに、自主防犯活動など地域の取組に支援を行うことにより、犯罪が発生しにくい環境になっています。

主な取組

- 消費生活相談員が相談業務にあたり、被害の回復や問題の解決を進めます。また、必要に応じて、国民生活センターや滋賀県消費生活センターなどとも連携を図り、解決を進めます。
- 警察・行政・地域で組織する犬上・彦根防犯自治会の活動を通じて、地域と関係機関が一体となり、効果的な防犯活動の推進を進めます。
- 防犯パトロール活動、通学見守り活動等の自主的・主体的な地域安全活動の促進を図ります。

SDGsゴール17：持続可能な開発のための実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップを活性化する



総合計画の関連する施策

1-1-3, 1-2-2, 4-3-2, 4-3-4, 5-1-1, 5-1-2, 5-1-3, 5-2-1, 5-2-2, 5-2-4

彦根市のゴール

- 地域で抱える問題は、そこに住む住民自らが解決し、住み良い環境を築き上げようとする自治意識が高まっています。
- 自治意識の高まりにより、身近な地域活動やボランティア活動への参加者が増加し、地域の中での住民同士の今まで以上のつながりや異なる地域同士のつながりが生まれた、住み良いまちになっています。
- 彦根市シティプロモーション戦略に沿った市民の主体的なシティプロモーション活動を推進することで、
 - ①市民がまちに誇りと魅力を感じ、
 - ②市民が当事者意識をもってまちの課題解決に向けた取組に参画し、
 - ③市民の熱(まちへの誇りや行動・実績)が市内外や世界に発信され、共感や憧れを獲得する。といったシティプロモーションのサイクルが効果的に展開しています。

主な取組

- 自治会等の地縁型組織が主体的に行うコミュニティ活動を支援し、地域活動の促進を図ります。
- NPO、ボランティア団体等の積極的な活動を促進するため、個人や団体の自主性を尊重しながら、活動を支援します。
- 多様化、高度化する市民ニーズに的確に対応するため、自治会、NPO、ボランティア団体、さらに企業、大学等が連携した取組により、地域の課題解決に努めます。
- 彦根市シティプロモーション戦略に沿って、官民協働によるシティプロモーション活動を進めます。